



従来は保護者が持ち帰り...

岡田議員が議会で取り上げ改善

三歳未満児の紙オムツ。これまで公立園では使用済み紙オムツを「保護者が持ち帰り」となっていますが、衛生上も感染防止対策としても問題あり、と岡田重美議員が一般質問で指摘。改善を求めたら、「公立園で処分するよう改善する」と約束。

自治振興会と「当初計画を見直す」区及び自治会

自治振興会と区及び自治会のあり方については、3月議会でも10項目にわたって取り上げましたが、今回はその第二弾。山岡議員は、3月議会の中で、特に自治振興会を「行政区」として位置づける点について、「これまで「区・自治会は変更しない」としてきたが、現行の行政区設置規則で『区』となっているのを『自治振興会』に置き換えようとしていることがはっきりした。また地域要望についても、区が直接市にあげるのではなく、自治振興会を通じてあげてほしいと述べられた。これ

は大きな転換。自治振興会がその熟度に達しているか、もつと議論を深める必要がある」と指摘したことをふまえ、あらためて10項目にわたって質問しました。全体として各地域からさまざまな意見が出ていることから、「来年4月スタート」として当初計画を見直すこと、地元合意を大事にして強引にすすめることはしないことを約束しました。山岡議員は、長野県松本市が同じような地域づくりで成功している事例を紹介しながら、

山岡光広議員が一般質問



日本共産党の山岡光広議員は6月議会一般質問に立ち、自治振興会と区及び自治会のあり方(第二弾)、生活保護申請における厚労省の扶養照会の改善点が甲賀市の「生活保護のしおり」に生かされていない問題、若狭湾周辺で原発事故があった場合、長浜市民が甲賀市のどこに避難するのかマツチングの公表を、新名神甲南インター周辺での工業台地造成計画について、市の姿勢の問題点を質すとともに、要求実現を求めました。

質問項目

- 自治振興会と区及び自治会のあり方：第2弾
- 生活保護申請の扶養照会：「しおり」改善求める
- 原発避難マツチング(長浜市民を甲賀市で受入)の公表
- 甲南インター周辺の工業団地造成計画について

政府は核兵器禁止条約を批准せよ 元気よく国民平和大行進

コロナ禍で2年続いて「平和のバトン引継ぎ式」だけでしたが、今年は2年ぶりに「国民平和大行進 湖南甲賀コース」を6月18日、政府は核兵器禁止条約を批准せよ、などとアピールして歩きました。(写真は先頭をあるく日本共産党甲賀市議員団)



「地域づくりに特効薬はない。住民自治をどう育てていくのが大事。先進地に学ぶ必要がある」と強調しました。

日本共産党創立100周年 1922.7.15→2022.7.15

日本共産党は、7月15日で党創立100周年を迎えます。戦前暗黒の時代、命がけで戦争反対・平和を貫いた唯一の政党です。戦前・戦後も同じ名前で活動しているのも日本共産党だけです。



やまおかみつひろ

山岡光広

市議会議員 活動報告

2022年7月15日
第936号

